

日曜日には名作オペラを!

モーツァルト、ベートーベンの魂が宿る音楽の街バーデンの名門
ウィーンの森 バーデン市立劇場

プッチーニ 歌劇 **「トスカ」**

ウィーンの2大音楽の殿堂
ムジークフェラインとコンシュルトハウスに出演した
期待の新星 **モニカ・レブホルツ**(ソプラノ)がトスカを歌う
東京で1回だけの「トスカ」は絶対に見逃せない!!



トスカ：モニカ・レブホルツ
カヴァラドッシ：コージン・アメーズマンほか
指揮：クリスチャン・ポーラック
バーデン市立劇場管弦楽団、合唱団

原語上演 字幕付

10月7日(日)午後4時開演

武蔵野市民文化会館大ホール

友の会 S席 8500円 A席7000円 B席6000円
一般 S席10000円 A席8000円 B席7000円

※アルテ友の会には年会費1000円で同時入会できます。

〈第7回武蔵野市国際オルガンコンクール審査委員特別コンサート〉

永遠のバッハ

ドイツ正統派オルガニストが選りすぐった
「新バッハ・オルガン名曲選」

アルフィート・ガスト

—— オルガン・リサイタル ——

リュウベック聖ヤコビ教会オルガニスト、リュウベック音楽大学教授
武蔵野で聴ける唯一の審査委員コンサート

【渾身のオール・バッハ・プログラム】

J.S.バッハ：幻想曲とフーガト短調 BWV542
トッカータ、アダージェョとフーガ BWV564
「目覚めよ、と呼ぶ声あり」ほか



10月4日(木)午後7時開演

武蔵野市民文化会館小ホール

全席指定1500円

公益財団法人 **武蔵野文化事業団**

www.musashino-culture.or.jp

●チケットのお申し込み

☎ **0422-54-2011**

●チケット取り扱い窓口

●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

ふかざわこうこ 深沢紅子展 野の花によせて

開催中 11月4日(日)まで
休館日=10月31日(水)

生涯を通して花と女性像を中心に制作を行った深沢紅子(1903-1993)。女子美術学校(現:女子美術大学)日本画科に入学しますが、その後、油彩画科に転向。同郷の油彩画家・童画家の深沢省三と結婚し、一時期吉祥寺に居住していました。若くして二科展に初入選すると、その後、一水会、女流画家協会などを発表の場として活躍。日本画の影響もうかがえる淡い色彩で描いた気品ある油彩画で、専ら親しい人や愛した花々を画題としていました。

晩年、油彩の大作の制作は少なくなりましたが、水彩で数々の野の花を描いていました。こうして生まれた作品は、華やかではなくともたくましく爽やかに咲く野の花々を愛したこの作家自身の姿をも映しているような、素朴な味わいを感じさせます。

本展は、ご遺族ならびに軽井沢の深沢紅子野の花美術館のご協力のもと、晩年の水彩画を中心に展示を行い、吉祥寺にも縁あるこの作家をあらためて紹介します。

イベント

1 ワークショップ「初めての水彩画・秋の草花を描こう」

日 時	10月20日(土) 午後1時~4時30分
会 場	武蔵野市立吉祥寺美術館 音楽室
対象・定員	小学生以上15名(水彩画初心者の方)
講 師	須藤由希子(画家)
参加費	1000円

2 ワークショップ「手作りフラワーで秋の花雑貨をつくろう」

日 時	11月3日(土) 午後1時~4時
会 場	武蔵野市立吉祥寺美術館 音楽室
対象・定員	小学生以上20名
講 師	森ゆり子(airy*works主宰)
参加費	500円

■ 申し込み方法

ハガキ・ファクス・Eメールのいずれかに ①ワークショップ名②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥メールアドレス(あれば)を記入の上、吉祥寺美術館ワークショップ係まで。締め切りは11月10日8日(月・祝) 210月24日(水) 必着。美術館窓口でも申し込み可。応募者多数のときは抽選(市民優先枠あり)とし、結果は全員に通知します。

申し込み先: FAX 0422-22-0386 E-MAIL museum-ws@musashino-culture.or.jp



《野の花》
1983年 油彩
深沢紅子野の花美術館・軽井沢蔵



《ワスレナグサ》
1991年 水彩
深沢紅子野の花美術館・軽井沢蔵



《繡のブラウス》
1991年 油彩
深沢紅子野の花美術館・軽井沢蔵



《エゾカワラナデシコ》
1991年 水彩
深沢紅子野の花美術館・軽井沢蔵

記念室のご案内 現在開催中 11月4日(日)まで

〈浜口陽三記念室〉 僕の好きなもの

浜口の根底にありつづける選りすぐりの「好きなもの」たちを紹介。

《やどかり》1960年



〈萩原英雄記念室〉 On the way —その途上で—

旅の情景や星がめぐりゆく様など、進行形の途上にある事象の一コマを切り取ったような作品を紹介。

《天使昇天 No.3》制作年不詳



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コピス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385
ホームページ http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/
★ツイッターはじめました! http://twitter.com/kichi_museum

開館時間: 午前10時~午後7時30分

休館日: 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始・展示替えおよび特別整理期間

入館料: 100円(小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)

■交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分